8月4日（火曜日）「信じきる幸い」

【新改訳 2017】

ルカ　　1•39－45

「エリザベツがマリヤのあいさつを聞いたとき‥‥‥聖霊に満たされた。そして……言った。『あなたは女の中の祝福された方。あなたの胎の実も祝福されています。‥‥‥主によって語られたことは必ず実現すると信じきった人は、なんと幸いなことでしょう。』」（41－45節）

　ここにも、エリザベツの信仰とともに、やはり神のご主権による選びと聖霊による一方的な祝福が記されています。

　彼女は、マリヤが胎の実を宿していること、その実が自分の主であること、彼女の胎内の子が主を認めたことなどを語りながら、マリヤと胎の実が祝福されていることを喜び告げています。そして、このようなまったく奇跡的なことは、御使いによって語られた主のおことばを信じきったことによる恵みの体験であると歌っています。

　主のみことばを信じきる信仰者はなんと幸いなことでしょう。私たちはどうでしょうか。そのような幸いな信仰者であり

ますように。

～祈り～

主よ。エリザベツのように、またマリヤのように、主のことばを信じきって幸いを覚えることができる者としてください。

【学びのために】

ヘブル3•7-19、4•2 参照。